

古瀬俱之ガバナー公式訪問のご報告

鳥取西ロータリークラブ

2019-2020 年度 幹事 児島 良

日時：8月23日（月）11時10分～13時30分

場所：ホテルニューオータニ鳥取

8月23日、R I 第2690地区古瀬俱之ガバナー、岸 篤彦地区代表幹事が当クラブに公式訪問されました。古瀬ガバナーは鳥取に4連泊され、鳥取県東部では最後の訪問とのことでしたが、お疲れの様子もなく積極的にお話されました。

11時10分から開催の「会長・幹事懇談会」には、当クラブからは岩崎陽一会長（ガバナーノミニー）と幹事の児島、そして2年後のガバナー年度に内定している吉田博地区代表幹事、山下卓治地区代表副幹事、田中章夫地区大会実行委員長の5名が出席しました。岩崎会長の歓迎の挨拶の後、古瀬ガバナー、岸地区代表幹事からご挨拶をいただき懇談会が始まりました。

まず、岩崎会長から今年度のクラブ運営方針の説明、続いて幹事の児島からクラブの概況や今年度40周年を迎えるにあたっての事業計画などの説明をさせていただきました。それに基づき古瀬ガバナーからご質問やご教示がありました。特に長期戦略（ビジョン）の作製にあたっての作製メンバーの構成や進め方については大変参考になりました。また、昨年度日本でのクラブの合併が3クラブ、終結が7クラブあったとのことですが、中には50年以上の歴史あるクラブも終結したことを考えると長期ビジョンの必要性を改めて感じました。

12時30分より行われたガバナー公式訪問例会の卓話では、ハンブルグでの国際大会で発表されたマーク・ダニエル・マローニーR I 会長のスピーチの映像と音声を拝見することができました。また、サンディエゴで行われた国際協議会での研修の様子や大谷翔平選手が高校時代に作製していた目標達成用紙を用いて、3～5年先のクラブ目標を設定しそれに向けての達成計画を進める方法のご教示をいただきました。

懇談会・例会での古瀬ガバナーからのお言葉、ご教示を心に留め、今後の事業や奉仕活動を推進していくとともに、鳥取西クラブらしく楽しく・元気で・明るいロータリークラブを目指して参りたいと思います。